

## 平成28年度滋賀県がん診療連携協議会・第2回研修推進部会 議事概要

日 時 平成28年10月28日(金) 18時00分～19時00分

場 所 滋賀医科大学医学部附属病院 4階 第4会議室

出席者 村田喜代史(滋賀医科大学医学部附属病院)

山中晃(大津赤十字病院)

財間正純(滋賀県立成人病センター)

北川久美(大津赤十字病院)

高野厚子(滋賀県立成人病センター)

山崎道夫(公立甲賀病院)

中村洋美(公立甲賀病院)

木下千恵美(彦根市立病院)

田久保康隆(市立長浜病院)

山岸美紀(市立長浜病院)

澤井奈奈江(高島市民病院)

馬場正道(済生会滋賀県病院)

中野且敬(近江八幡市立総合医療センター)

中村誠昌(長浜赤十字病院)

森田潤(滋賀県歯科医師会)

瀧川政邦(滋賀県薬剤師会)

平田誠(滋賀県放射線技師会)

松井まり子(滋賀県臨床検査技師会)

玉井文子(滋賀県歯科衛生士会)

鈴木真理(滋賀県栄養士会)

寺田智祐(滋賀県病院薬剤師会)

野坂明子(滋賀県健康医療福祉部)

嶋田宏之(滋賀県立成人病センター)

欠席者 多川晴美(滋賀医科大学医学部附属病院)

吉川浩平(彦根市立病院)

武田佳久(高島市民病院)

高見史朗(大津市民病院)

卜部諭(草津総合病院)

辻川知之(東近江総合医療センター)

中村隆志(滋賀県医師会)

三上房枝(滋賀県看護協会)

オブザーバー 菊井津多子、冨田勢津子(滋賀県がん患者団体連絡協議会)

(敬称略)

## 1. 報告

部会長から、次の新規部会員の紹介があった。

滋賀県看護協会 三上房枝 専務理事  
滋賀県臨床検査技師会 松井まり子 副会長  
滋賀県病院薬剤師会 寺田智祐 会長

部会長から、前回の部会（平成28年6月21日開催）の議事録について、ご意見等があれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

## 2. 議題

### (1) 平成28年度の取組について

#### 1) がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について（資料1-1～3）

滋賀県のサイト「がん情報しが」に毎月掲載しているがん関係フォーラム、講演会等の情報を元に、各医療圏における講演会等について過不足等の確認、検討を行った。

(大津) 今年度は、肺がんに関するものが多いが、肝がんに関するものも開催した。薬物療法、がん看護についても多く開催している。口腔ケアに関しては、医療従事者対象のものを、今後、患者家族、一般向けへの拡大を考えている。

(湖南) 成人病センターでは、月1回程度のがん診療セミナー、がん教室を開催し一定の参加者を得ているが、診療所の医師等の参加が少ないことが気になることであり周知等図っていききたいと考えている。

(甲賀) テーマの決定が難しいところであり、希少がんをテーマにすると来場者も少なく悩ましいところである。社労士によるがん就労に関する相談会といった社会的なものにも取り組んでいる。

(東近江) 今回代理出席させていただき、他の医療圏を参考にさせていただきたい。開催件数について、東近江医療圏は、滋賀医大が拠点病院となっているが、同医療圏ですべてが開催されているわけではなく、所在している大津医療圏で開催されているものも多い。

(湖東) 開催件数については、やや少ないと思われるが、他の医療圏で開催されているものも参考に今後検討していきたい。

(湖北) 7月に市立長浜病院がんフォーラムを開催した。平成29年度は長浜赤十字病院との共同開催を予定している。緩和ケア講演会を年2、3回開催しているほか、頭皮ケアとウィッグを頻回に開催している。

(湖西) 今年度については、9月頃から本格始動し、年後半に掛けて実施回数を増やしているところである。

湖西において開催されている中学2年生を対象としたがん教育について質問があり、滋賀県からの要請を受けて、外科系医師が中心となって中学校においてがん教育をしている旨回答があった。

また、湖北においても年数回実施しているとの説明があった。

その内容については、講義のほか、がん患者から体験談を聞くといったものとなっているとの説明があった。

これらについては、がん教育が文部科学省の学習指導要領に組み込まれたことによるものとの解説が滋賀県からあった。

各医療圏の開催状況を確認、意見交換の後、「がん情報しが」を確認した方々が、講演会等の内容がより分かりやすいものとなるよう、講演会等の名称にサブタイトルを記すなどの工夫をしていただくよう、部会長から協力依頼があった。

また、部会長から、参加者数は着実に得られており、満足度についても概ね高いと思われるが、各医療圏において努力していただいていることによるものと思われるが、今回の部会で確認した各医療圏での取り組みも今後の参考としていただき、また、本部会のPDCAサイクルとしても重要な数値でもあるので、引き続き事務局まで報告いただくよう協力依頼があった。

満足度に関して質問があり、事務局から、講演会等の実施主体においてそれぞれ満足度を測られていると思うが、事務局に問合せがあった際には、例えば、5段階で測られている場合、4以上を満足とご案内している旨説明があった。

## 2) 看護ワーキングが行うがん看護研修の実施について（資料2）

山岸委員から、がん看護研修Ⅱについて、今年度は7月に始まり、1週間の日程で、一般病棟、化学療法、放射線療法を学ぶ実習となっていること、2月の閉講式にかけて、受講者5名が5病院で実習する旨報告があり、これから実習が始まる病院に対しての協力依頼があった。

部会長から、医療人の育成は本部会の重要な課題であることから、この取り組みについて、各職域等でも参考としていただくよう依頼があった。

## 3) 国立がん研究センターの受講調整について（資料3-1、2）

部会長から、国立がん研究センターによる研修で、滋賀県の推薦が必要なものは本部会で推薦順位の調整を行っているとの説明があり、調整が必要な研修について確認を行った。

「がん化学療法医療チーム指導者養成研修」については、今年度は彦根市立病院の順であるが選考されなかったため、順位はそのまま次年度にスライドすることとした（平成29年度：彦根市立病院、平成30年度：市立長浜病院、平成31年度：長浜赤十字病院の順）。

滋賀県から、国立がん研究センターに確認したところ、「地域におけるがん化学療法研修実施にかかる指導者養成研修」並びに「地域におけるがん化学療法薬剤師研修企画実施にかかる指導者養成研修」については、受講対象が「都道府県がん診療連携拠点病院」であることが明らかとなったため、推薦順位の表から削除することとなった。

## 4) 各団体の取組について（資料4）

各団体の取組予定等について、次のとおり報告があった。

(滋賀県歯科医師会)

- ・口腔がん検診の啓発については、公開講座は行わず、相談と検診を実施することとなった。
- ・がん医科歯科連携の更なる推進のため、口腔ケアに関するDVD講習会を9月に実施した。
- ・来年度からの口腔がん検診が実施できるよう準備中である。

(滋賀県薬剤師会)

- ・滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師のフォローアップについては、9月に実施、次回12月を予定している。
- ・滋賀医大や成人病センター等で行われるがん関連研修会への参画を呼びかけている。

(滋賀県放射線技師会)

- ・1月開催の第3回滋賀県放射線技師会学術研修会において、「がん患者の妊孕性温存」をテーマに市民公開講座を企画している。
- ・滋賀県内で実施される健康フェスティバルにおいて、乳がんのマンモグラフィー検査や胃がん検査についてパネルで紹介することとしている。

(滋賀県臨床検査技師会)

- ・県内で実施の健康フェスティバルに参加しており、貧血検査のほか、顕微鏡で白血病の細胞を見てもらってがんに関心を示してもらい取り組みを実施している。
- ・11月に県内の商業施設において、「検査と健康展」を実施するが、がんに関しては乳がんの触診体験を予定している。健康フェスティバルは高齢者の参加が多いが、商業施設では若年層の参加が見込まれる。

(滋賀県歯科衛生士会)

- ・歯科衛生士向けにがんに関連する研修会を毎年開催しており、今年度は薬剤師を講師に迎え薬をテーマとした研修を予定している。

(滋賀県栄養士会)

- ・今年度の診療報酬改定もあり、がんの栄養管理に関する研修を実施。
- ・学校栄養士も会員であるので、先程議論となった中学生向けの教育も参考に食育もテーマとしていきたいと考えている。

(滋賀県病院薬剤師会)

- ・がん薬物療法に関しては、病院の薬剤師と薬局の薬剤師との連携を図るためのセミナーや講演会を定期的で開催している。
- ・奇数月に、がん診療連携拠点病院の持ち回りによる症例検討会を開催している。
- ・県内の健康フェスティバルにも参加しており、病院薬剤師の役割についての情報提供を行っている。

(2) 研修推進部会の取り組み評価（中間評価）について（資料5-1、2）

部会長から、アクションプランで示している事項について説明があり、各事項についての中間評価（A～D）を行った。

分野ごとの講演会、研修会等の過不足の改善検討に関しては、医療圏ごと、がんに関するテーマごとに検証し、改善案を検討している。

フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討については、参加者数の増加に向けて、講演会の名称にサブタイトルを付すなど、一般の方がより分かりやすくなるよう努めることとしている。

県内統一の看護研修会の実施に関しては、今回報告があったようとおりに実施しているところである。

がんに関わる医療人の育成に係る研修の検討については、今年度新たに加わった事項である。

今回、滋賀県病院薬剤師会を部会員として加入していただいていた一歩踏み出したところでもあり、全体としてはB評価とすることにした。

P D C Aに関しては、各医療機関、団体が主催する講演会、研修会等の満足度ならびに参加人数をPlanとし、フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討をDoとしているところである。満足度については概ね高いと思われるが、参加者数の増加に向けて、講演会等の名称の表示にサブタイトルをつけるなど、一般の方にとってより分かりやすくなるよう改善に努めることとしている。

### (3) その他

#### 1) がん患者団体連絡協議会から、次の依頼、発言があった。

11月26日に、公開講座「がんと診断された時からの緩和ケア」と題して、米原市で開催する。第1部のパネルディスカッションでは会場と一体となって考えられるよう立案中であり、部会員が所属される団体でも、お越しいただくよう是非ご案内いただきたいとの依頼があった。

各病院・団体におかれては、がん患者のために日々業務多忙のところ、数多くの講演会等や医療者向けの研修を企画・開催していただいております。しかし、患者に医療者の懸命の努力や思いが伝わっていないことも認識しており、患者団体としては、患者やその家族に対して医療者の努力を伝えているが、日々どのようにすれば伝わるかを悩んでいるところである。

この部会では、がんに関わる医療人の育成を掲げられているので、各団体が開催される既存の研修会の中に、がん患者の思いを伝えられる機会があれば良いのではないかと考えている。がん患者がどのような思いで治療を受けているのかを知っていただければ、現場の医療者の認識もまた一つ違ったものになるのではないかと思う。既に滋賀県病院薬剤師会など一部団体の研修には参加させていただいており、その思いを伝えてきたところなので、今後これが他の団体にも広がればと感じている。

#### 2) 滋賀県立成人病センターから、次の依頼があった。

第8回滋賀県がん医療フォーラムを、来年2月4日、滋賀県がん診療連携協議会の主催により、各拠点病院等の医療者に応援をいただいて開催する。テーマとしては、これまでは先進的、最新の治療等の紹介をしてきたが、今回は原点に立ち返り、患者さんに基本的な情報を伝えることとし、特に最も科学的な根拠を有する標準治療について取り上げたい。今後チラシを各病院・団体に配付するのでご周知に協力いただきたい。

部会長から、次回の研修推進部会の予定（3月頃）と、その日程調整の依頼について案内があった。

**【配布資料】**

研修推進部会 部会員名簿

前回議事概要（平成28年度 第1回研修推進部会 6月2日開催分）

（資料1-1）平成28年度 がん関係フォーラム、講演会等開催予定数（開催場所医療圏別、対象者別、内容別）（平成28年9月末現在）

（資料1-2）平成28年度 がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報全体版（病院別）

（資料1-3）資料1-1において、がん内容の区分が「その他」となっているものの一覧

（資料2） 滋賀県がん診療連携協議会研修推進部会 平成28年度がん看護研修Ⅱ受講者

（資料3-1）平成28年度 国立がん研究センター 都道府県指導者研修（県の推薦が必要な研修） 受講予定一覧

（資料3-2）平成28年度におけるがん対策情報センターの研修計画

（資料4） 平成28年度 各団体取組予定

（資料5-1）滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート（研修推進部会）

（資料5-2）平成28年度滋賀県がん診療連携協議会PDCAチェックリスト（研修推進部会）